

※選抜は物理・化学・生物から2科目選択  
学士は化学・生物必須

試験時間 100分

- 注意事項**
- この科目の問題用紙は10ページ、解答用紙はマークカード1枚である。  
解答用紙には受験番号と氏名の記入を忘れないこと。
  - 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。
  - 問題用紙は解答用紙とともに机上において退出すること。持ち帰ってはいけない。

【1】 次の問い(問1~問5)に答えよ。(解答番号  ~  )

問1 図1のように、長さ  $L$ (m)の軽い糸の一端に質量  $m$ (kg)の小球  $P$  をつけ、糸の他端を天井の点  $O$  につけて鉛直面内で振動させた。糸と鉛直線のなす角度が  $\theta$ (rad)のとき、 $P$ の角速度を  $\omega$ (rad/s)とすると、 $P$ の運動エネルギーと重力による位置エネルギーの和は  (J)となる。また、このときの糸の張力の大きさは  (N)である。ただし、重力加速度の大きさを  $g$ (m/s<sup>2</sup>)とし、 $P$ が点  $O$ の真下にあるときの高さを位置エネルギーの基準点とする。

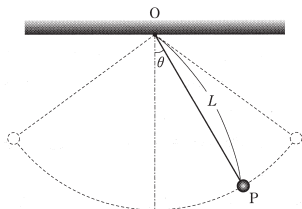


図1

**解答群**

- |   |   |                                 |
|---|---|---------------------------------|
| ① $\frac{mL\omega}{2} + mgL \cos \theta$        | ② $\frac{mL^2\omega}{2} + mgL \cos \theta$        |                                 |
| ③ $\frac{mL\omega^2}{2} + mgL \cos \theta$      | ④ $\frac{mL^2\omega^2}{2} + mgL \cos \theta$      |                                 |
| ⑤ $\frac{mL\omega}{2} + mgL(1 - \cos \theta)$   | ⑥ $\frac{mL^2\omega}{2} + mgL(1 - \cos \theta)$   |                                 |
| ⑦ $\frac{mL\omega^2}{2} + mgL(1 - \cos \theta)$ | ⑧ $\frac{mL^2\omega^2}{2} + mgL(1 - \cos \theta)$ |                                 |
| ⑨ $mL\omega + mg \sin \theta$                   | ⑩ $mL^2\omega + mg \sin \theta$                   | ⑪ $mL\omega^2 + mg \sin \theta$ |
| ⑫ $mL^2\omega^2 + mg \sin \theta$               | ⑬ $mL\omega + mg \cos \theta$                     | ⑭ $mL^2\omega + mg \cos \theta$ |
| ⑮ $mL\omega^2 + mg \cos \theta$                 | ⑯ $mL^2\omega^2 + mg \cos \theta$                 |                                 |

問2 図2のように、あらい水平面に置かれた質量  $M$ (kg)の小物体  $A$  に、ばね定数  $k$ (N/m)の軽いばねをつけ、水平と角度  $\theta$ (rad)をなす斜め上方に力を加える。加える力を少しずつ大きくしたところ、大きさ  $F$ (N)で  $A$  が水平面から離れずに水平に動き出した。重力加速度の大きさを  $g$ (m/s<sup>2</sup>)として、 $A$  と水平面との間の静止摩擦係数は  である。また、 $A$  が動き出す直前のばねの自然の長さからの伸びは  を  $\mu$  とおいて、 $M, k, \theta, g, \mu$  を用いて表すと  (m)である。

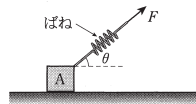


図2

**3 の解答群**

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
| ① $\frac{F \sin \theta}{Mg + F \sin \theta}$ | ② $\frac{F \cos \theta}{Mg + F \sin \theta}$ | ③ $\frac{F \sin \theta}{Mg - F \sin \theta}$ | ④ $\frac{F \cos \theta}{Mg - F \sin \theta}$ |
| ⑤ $\frac{F \sin \theta}{Mg + F \cos \theta}$ | ⑥ $\frac{F \cos \theta}{Mg + F \cos \theta}$ | ⑦ $\frac{F \sin \theta}{Mg - F \cos \theta}$ | ⑧ $\frac{F \cos \theta}{Mg - F \cos \theta}$ |

**4 の解答群**

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ① $\frac{\mu Mg}{k(\sin \theta + \mu \cos \theta)}$ | ② $\frac{\mu Mg}{k(\cos \theta + \mu \sin \theta)}$ | ③ $\frac{\mu Mg}{k(\sin \theta - \mu \cos \theta)}$ |
| ④ $\frac{\mu Mg}{k(\cos \theta - \mu \sin \theta)}$ | ⑤ $\frac{\mu Mg}{k(1 + \mu \tan \theta)}$           | ⑥ $\frac{\mu Mg}{k(1 - \mu \tan \theta)}$           |
| ⑦ $\frac{\mu Mg}{k(\mu + \tan \theta)}$             | ⑧ $\frac{\mu Mg}{k(\mu - \tan \theta)}$             |   |

問3 図3のように、平面上にある一辺の長さが  $d$ (m)の正六角形の各頂点の位置に、この平面と垂直に6本の細くてじゅうぶんに長い直線状の導線  $A$  から  $F$  を通した。それぞれの導線に電流  $I$ (A)を、 $A$  には上向きに、 $B$  から  $F$  には下向きに流した。このとき、この正六角形の中心の点  $P$  での磁場の強さは  (A/m)である。ただし、図3は平面を上から見た図である。

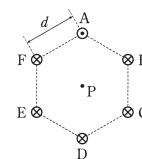


図3

**解答群**

- |                      |                      |                      |                      |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| ① $\frac{I}{6\pi d}$ | ② $\frac{I}{5\pi d}$ | ③ $\frac{I}{4\pi d}$ | ④ $\frac{I}{3\pi d}$ |
| ⑤ $\frac{I}{2\pi d}$ | ⑥ $\frac{I}{\pi d}$  | ⑦ $\frac{2I}{\pi d}$ | ⑧ $\frac{3I}{\pi d}$ |
| ⑨ $\frac{4I}{\pi d}$ | ⑩ $\frac{5I}{\pi d}$ | ⑪ $\frac{6I}{\pi d}$ |                      |

問4 図4のように、振動数  $f$ (Hz)の音波を出しながら、音源  $S_1$  が直線上を速さ  $v_1$ (m/s)で観測者  $O$  に近づいている。音の速さを  $V$ (m/s)とすると、 $O$  が観測する音波の波長は  (m)である。つぎに、 $S_1$  を  $O$  に近づけながら、 $S_1$  と同じ振動数の音波を出す音源  $S_2$  を、 $S_1$  と反対側から同じ直線上を速さ  $v_2$ (m/s)で  $O$  に近づける。このとき、 $O$  は1秒間に  回のうなりを観測する。ただし、 $V > v_1 > v_2$  とし、風は吹いていないものとする。

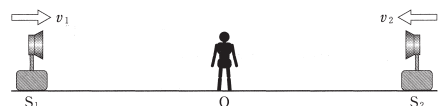


図4

**6 の解答群**

- |                       |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ① $\frac{V}{f}$       | ② $\frac{f}{V}$       | ③ $\frac{V + v_1}{f}$ |
| ④ $\frac{f}{V + v_1}$ | ⑤ $\frac{V - v_1}{f}$ | ⑥ $\frac{f}{V - v_1}$ |

**7 の解答群**

- |  |  |  |
|--|--|--|
| ① $\frac{(v_1 + v_2)V}{(V + v_1)(V + v_2)} f$      | ② $\frac{(v_1 - v_2)V}{(V + v_1)(V + v_2)} f$      | ③ $\frac{(v_1 + v_2)V}{(V - v_1)(V + v_2)} f$      |
| ④ $\frac{(v_1 - v_2)V}{(V - v_1)(V + v_2)} f$      | ⑤ $\frac{(v_1 + v_2)V}{(V - v_1)(V - v_2)} f$      | ⑥ $\frac{(v_1 - v_2)V}{(V - v_1)(V - v_2)} f$      |
| ⑦ $\frac{(2V + v_1 + v_2)V}{(V - v_1)(V + v_2)} f$ | ⑧ $\frac{(2V + v_1 - v_2)V}{(V - v_1)(V + v_2)} f$ | ⑨ $\frac{(2V - v_1 + v_2)V}{(V - v_1)(V + v_2)} f$ |
| ⑩ $\frac{(2V - v_1 - v_2)V}{(V - v_1)(V + v_2)} f$ |  |  |

問 5 図 5 のように、なめらかに動くピストンがついた容器 A と B に単原子分子理想気体を入れて、ピストンを連結し、A と B を水平な床に固定した。このとき、2 つの容器内の気体はともに、圧力  $P_0$  (Pa)、温度  $T_0$  (K)、体積  $V_0$  (m<sup>3</sup>) であった。つぎに、A 内の気体の温度を一定に保ったまま、B 内の気体の温度を  $\Delta T$  (K) だけ上げたところ、B 内の気体の圧力は  $\boxed{8} \times P_0$  (Pa) となり、B 内の気体の体積は  $\boxed{9} \times V_0$  (m<sup>3</sup>) だけ増加した。

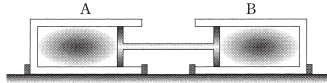


図 5

解答群

- ①  $\frac{\Delta T}{2 T_0}$     ②  $\frac{\Delta T + T_0}{2 T_0}$     ③  $\frac{2 \Delta T + T_0}{2 T_0}$     ④  $\frac{\Delta T + 2 T_0}{2 T_0}$   
 ⑤  $\frac{\Delta T}{\Delta T + 2 T_0}$     ⑥  $\frac{T_0}{\Delta T + 2 T_0}$     ⑦  $\frac{2 \Delta T}{\Delta T + 2 T_0}$     ⑧  $\frac{2 T_0}{\Delta T + 2 T_0}$   
 ⑨  $\frac{\Delta T + T_0}{\Delta T + 2 T_0}$     ⑩  $\frac{2 \Delta T + T_0}{\Delta T + 2 T_0}$     ⑪  $\frac{2 \Delta T + 2 T_0}{\Delta T + 2 T_0}$     ⑫  $\frac{2 \Delta T + 2 T_0}{2 \Delta T + T_0}$

【Ⅱ】 次の問い(問 1～問 6)に答えよ。(解答番号  $\boxed{1}$  ～  $\boxed{9}$ )

図 6 のように、質量  $2m$  (kg) の小物体 A を水平面上の点 P から水平と角度  $30^\circ$  をなす斜め上方へ、速さ  $v_0$  (m/s) で投射した。また、水平面上の点 Q から、質量  $m$  (kg) の小物体 B を A の投射と同時に真上に投射したところ、A と B はともに最高点 R で衝突し、一体となった。その後、一体となった小物体は水平面上の点 S に落下し、はね返った。ただし、重力加速度の大きさを  $g$  (m/s<sup>2</sup>) とし、すべての小物体は同じ鉛直面内を運動するものとする。また、A と B が一体となった小物体を C とよぶことにする。

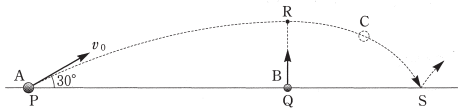


図 6

問 1 A を投射してから、点 R で A と B が衝突するまでの時間は  $\boxed{1}$  (s) であり、点 R の水平面からの高さは  $\boxed{2}$  (m) である。

① の解答群

- ①  $\frac{v_0}{3g}$     ②  $\frac{v_0}{2g}$     ③  $\frac{\sqrt{3}v_0}{3g}$     ④  $\frac{\sqrt{2}v_0}{2g}$     ⑤  $\frac{\sqrt{3}v_0}{2g}$   
 ⑥  $\frac{v_0}{g}$     ⑦  $\frac{2\sqrt{3}v_0}{3g}$     ⑧  $\frac{\sqrt{2}v_0}{g}$     ⑨  $\frac{\sqrt{3}v_0}{g}$     ⑩  $\frac{2v_0}{g}$

② の解答群

- ①  $\frac{v_0^2}{18g}$     ②  $\frac{v_0^2}{8g}$     ③  $\frac{v_0^2}{6g}$     ④  $\frac{v_0^2}{4g}$     ⑤  $\frac{3v_0^2}{8g}$   
 ⑥  $\frac{v_0^2}{2g}$     ⑦  $\frac{2v_0^2}{3g}$     ⑧  $\frac{v_0^2}{g}$     ⑨  $\frac{3v_0^2}{2g}$     ⑩  $\frac{2v_0^2}{g}$

問 2 投射直後の B の速さは  $\boxed{3}$  (m/s) である。

解答群

- ①  $\frac{1}{3}v_0$     ②  $\frac{1}{2}v_0$     ③  $\frac{\sqrt{3}}{3}v_0$     ④  $\frac{\sqrt{2}}{2}v_0$     ⑤  $\frac{\sqrt{3}}{2}v_0$   
 ⑥  $v_0$     ⑦  $\frac{2\sqrt{3}}{3}v_0$     ⑧  $\sqrt{2}v_0$     ⑨  $\sqrt{3}v_0$     ⑩  $2v_0$

問 3 点 R で衝突する直前の A の速さは  $\boxed{4}$  (m/s) であり、衝突直後の C の速さは  $\boxed{5}$  (m/s) である。

解答群

- ①  $\frac{1}{3}v_0$     ②  $\frac{1}{2}v_0$     ③  $\frac{\sqrt{3}}{3}v_0$     ④  $\frac{\sqrt{2}}{2}v_0$     ⑤  $\frac{\sqrt{3}}{2}v_0$   
 ⑥  $v_0$     ⑦  $\frac{2\sqrt{3}}{3}v_0$     ⑧  $\sqrt{2}v_0$     ⑨  $\sqrt{3}v_0$     ⑩  $2v_0$

問 4 A を投射してから、C が点 S に落下するまでの時間は  $\boxed{6}$  (s) であり、点 P と点 S の間の距離は  $\boxed{7}$  (m) である。

⑥ の解答群

- ①  $\frac{v_0}{3g}$     ②  $\frac{v_0}{2g}$     ③  $\frac{\sqrt{3}v_0}{3g}$     ④  $\frac{\sqrt{2}v_0}{2g}$     ⑤  $\frac{\sqrt{3}v_0}{2g}$   
 ⑥  $\frac{v_0}{g}$     ⑦  $\frac{2\sqrt{3}v_0}{3g}$     ⑧  $\frac{\sqrt{2}v_0}{g}$     ⑨  $\frac{\sqrt{3}v_0}{g}$     ⑩  $\frac{2v_0}{g}$

⑦ の解答群

- ①  $\frac{v_0^2}{12g}$     ②  $\frac{\sqrt{3}v_0^2}{12g}$     ③  $\frac{v_0^2}{4g}$     ④  $\frac{5v_0^2}{12g}$     ⑤  $\frac{\sqrt{3}v_0^2}{4g}$   
 ⑥  $\frac{7v_0^2}{12g}$     ⑦  $\frac{5\sqrt{3}v_0^2}{12g}$     ⑧  $\frac{3v_0^2}{4g}$     ⑨  $\frac{7\sqrt{3}v_0^2}{12g}$     ⑩  $\frac{3\sqrt{3}v_0^2}{4g}$

問 5 点 S ではね返った直後の C の速度の鉛直成分の大きさは  $\boxed{8}$  (m/s) である。ただし、C が水平面ではね返ったときのね返り係数を  $e$  とする。

解答群

- ①  $\frac{1}{3}ev_0$     ②  $\frac{1}{2}ev_0$     ③  $\frac{\sqrt{3}}{3}ev_0$     ④  $\frac{\sqrt{2}}{2}ev_0$     ⑤  $\frac{\sqrt{3}}{2}ev_0$   
 ⑥  $ev_0$     ⑦  $\frac{2\sqrt{3}}{3}ev_0$     ⑧  $\sqrt{2}ev_0$     ⑨  $\sqrt{3}ev_0$     ⑩  $2ev_0$

問 6 点 S ではね返った後に、C がもっとも高くなったときの水平面からの高さは  $\boxed{9}$  (m) である。

解答群

- ①  $\frac{e^2v_0^2}{32g}$     ②  $\frac{e^2v_0^2}{18g}$     ③  $\frac{e^2v_0^2}{8g}$     ④  $\frac{e^2v_0^2}{6g}$     ⑤  $\frac{e^2v_0^2}{4g}$   
 ⑥  $\frac{3e^2v_0^2}{8g}$     ⑦  $\frac{e^2v_0^2}{2g}$     ⑧  $\frac{2e^2v_0^2}{3g}$     ⑨  $\frac{e^2v_0^2}{g}$     ⑩  $\frac{3e^2v_0^2}{2g}$

【Ⅲ】 次の問い(問 1～問 5)に答えよ。(解答番号  $\boxed{1}$  ～  $\boxed{9}$ )

図 7 のように、抵抗値  $R$  ( $\Omega$ ) の電気抵抗 R、電気容量がそれぞれ  $C_1$  (F) と  $C_2$  (F) のコンデンサー  $C_1$  と  $C_2$ 、自己インダクタンス  $L$  (H) のコイル L、スイッチ  $S_1$  と  $S_2$ 、内部抵抗の無視できる起電力  $V$  (V) の直流電源 E、および交流電源を接続した回路がある。はじめ  $S_1$  と  $S_2$  は開いており、 $C_1$  と  $C_2$  に電荷はたくわえられていないものとする。

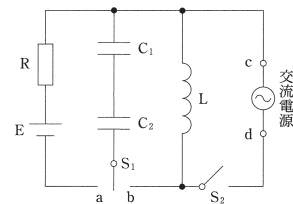


図 7

問 1  $S_1$  を接点 a につないだ直後に R に流れる電流は  $\boxed{1}$  (A) である。

解答群

- ① 0    ②  $(C_1 + C_2)V$     ③  $\frac{C_1 C_2}{C_1 + C_2}V$   
 ④  $\frac{C_1 + C_2}{C_1 C_2}V$     ⑤  $\frac{V}{R}$     ⑥  $\frac{R}{V}$   
 ⑦  $V\sqrt{\frac{1}{R^2} + (C_1 + C_2)^2}$     ⑧  $V\sqrt{\frac{1}{R^2} + \left(\frac{C_1 C_2}{C_1 + C_2}\right)^2}$

問 2  $S_1$  を接点 a につないでしばらく時間がたったとき、 $C_1$  の両端に加わる電圧は  $\boxed{2}$  [V] であり、 $C_1$  にたくわえられている電気量は  $\boxed{3}$  [C] である。また、 $C_1$  と  $C_2$  にたくわえられている静電エネルギーの和は  $\boxed{4}$  [J] である。

$\boxed{2}$  と  $\boxed{3}$  の解答群

- ①  $C_1 V$       ②  $C_2 V$       ③  $\frac{V}{C_1}$       ④  $\frac{V}{C_2}$   
 ⑤  $\frac{C_2}{C_1} V$     ⑥  $\frac{C_1}{C_2} V$     ⑦  $\frac{C_1}{C_1 + C_2} V$     ⑧  $\frac{C_2}{C_1 + C_2} V$   
 ⑨  $\frac{C_1 + C_2}{C_1} V$     ⑩  $\frac{C_1 + C_2}{C_2} V$     ⑪  $\frac{C_1 C_2}{C_1 + C_2} V$     ⑫  $\frac{C_1 + C_2}{C_1 C_2} V$

$\boxed{4}$  の解答群

- ①  $\frac{C_1 C_2}{C_1 + C_2} V^2$       ②  $\frac{C_1 + C_2}{C_1 C_2} V^2$       ③  $\frac{C_1 C_2 (C_1 - C_2)}{(C_1 + C_2)^2} V^2$   
 ④  $\frac{(C_1 + C_2)^2}{C_1 C_2 (C_1 - C_2)} V^2$     ⑤  $\frac{C_1 C_2}{2(C_1 + C_2)} V^2$     ⑥  $\frac{C_1 + C_2}{2 C_1 C_2} V^2$   
 ⑦  $\frac{C_1 C_2 (C_1 - C_2)}{2(C_1 + C_2)^2} V^2$     ⑧  $\frac{(C_1 + C_2)^2}{2 C_1 C_2 (C_1 - C_2)} V^2$

問 3 つぎに、 $S_1$  を接点 a から接点 b に切りかえたところ、 $C_1$  と  $C_2$  および  $L$  に振動電流が流れた。この振動電流の角周波数は  $\boxed{5}$  [rad/s] であり、電流の最大値は  $\boxed{6}$  [A] である。

$\boxed{5}$  の解答群

- ①  $\frac{C_1 + C_2}{L C_1 C_2}$       ②  $\frac{C_1 C_2}{L(C_1 + C_2)}$       ③  $\frac{L(C_1 + C_2)}{C_1 C_2}$       ④  $\frac{L C_1 C_2}{C_1 + C_2}$   
 ⑤  $\sqrt{\frac{C_1 + C_2}{L C_1 C_2}}$     ⑥  $\sqrt{\frac{C_1 C_2}{L(C_1 + C_2)}}$     ⑦  $\sqrt{\frac{L(C_1 + C_2)}{C_1 C_2}}$     ⑧  $\sqrt{\frac{L C_1 C_2}{C_1 + C_2}}$

$\boxed{6}$  の解答群

- ①  $\frac{C_1 + C_2}{L C_1 C_2} V$       ②  $\frac{C_1 C_2}{L(C_1 + C_2)} V$       ③  $\frac{L(C_1 + C_2)}{C_1 C_2} V$   
 ④  $\frac{L C_1 C_2}{C_1 + C_2} V$       ⑤  $\sqrt{\frac{C_1 + C_2}{L C_1 C_2}} V$       ⑥  $\sqrt{\frac{C_1 C_2}{L(C_1 + C_2)}} V$   
 ⑦  $\sqrt{\frac{L(C_1 + C_2)}{C_1 C_2}} V$       ⑧  $\sqrt{\frac{L C_1 C_2}{C_1 + C_2}} V$

問 4  $S_1$  を開き、振動電流を止めたあとに、 $C_1$  と  $C_2$  にたくわえられていた電荷を放電した。その後、 $S_1$  を接点 b につなぎ、 $S_2$  を閉じた。 $S_2$  を閉じた瞬間を時刻 0 とすると、時刻  $t$  (s) のときの点 d に対する点 c の電位  $v$  (V) が、角周波数を  $\omega$  (rad/s)、電圧の最大値を  $V_0$  (V) として  $v = V_0 \sin \omega t$  と表された。このとき、点 c から  $L$  を通って点 d へ流れる電流は  $\boxed{7}$  [A] であり、点 c から  $C_1$  と  $C_2$  を通って点 d へ流れる電流は  $\boxed{8}$  [A] である。ただし、 $C_1$  と  $C_2$  の合成容量を  $C$  [F] とする。また、必要に応じて以下の式を利用せよ。

$$\sin\left(\omega t + \frac{\pi}{2}\right) = \cos \omega t, \quad \sin\left(\omega t - \frac{\pi}{2}\right) = -\cos \omega t$$

$\boxed{7}$  の解答群

- ①  $\omega L V_0 \sin \omega t$     ②  $-\omega L V_0 \sin \omega t$     ③  $\frac{1}{\omega L} V_0 \sin \omega t$     ④  $-\frac{1}{\omega L} V_0 \sin \omega t$   
 ⑤  $\frac{L}{\omega} V_0 \sin \omega t$     ⑥  $-\frac{L}{\omega} V_0 \sin \omega t$     ⑦  $\frac{\omega}{L} V_0 \sin \omega t$     ⑧  $-\frac{\omega}{L} V_0 \sin \omega t$   
 ⑨  $\omega L V_0 \cos \omega t$     ⑩  $-\omega L V_0 \cos \omega t$     ⑪  $\frac{1}{\omega L} V_0 \cos \omega t$     ⑫  $-\frac{1}{\omega L} V_0 \cos \omega t$   
 ⑬  $\frac{L}{\omega} V_0 \cos \omega t$     ⑭  $-\frac{L}{\omega} V_0 \cos \omega t$     ⑮  $\frac{\omega}{L} V_0 \cos \omega t$     ⑯  $-\frac{\omega}{L} V_0 \cos \omega t$

$\boxed{8}$  の解答群

- ①  $\omega C V_0 \sin \omega t$     ②  $-\omega C V_0 \sin \omega t$     ③  $\frac{1}{\omega C} V_0 \sin \omega t$     ④  $-\frac{1}{\omega C} V_0 \sin \omega t$   
 ⑤  $\frac{C}{\omega} V_0 \sin \omega t$     ⑥  $-\frac{C}{\omega} V_0 \sin \omega t$     ⑦  $\frac{\omega}{C} V_0 \sin \omega t$     ⑧  $-\frac{\omega}{C} V_0 \sin \omega t$   
 ⑨  $\omega C V_0 \cos \omega t$     ⑩  $-\omega C V_0 \cos \omega t$     ⑪  $\frac{1}{\omega C} V_0 \cos \omega t$     ⑫  $-\frac{1}{\omega C} V_0 \cos \omega t$   
 ⑬  $\frac{C}{\omega} V_0 \cos \omega t$     ⑭  $-\frac{C}{\omega} V_0 \cos \omega t$     ⑮  $\frac{\omega}{C} V_0 \cos \omega t$     ⑯  $-\frac{\omega}{C} V_0 \cos \omega t$

問 5 点 c を流れる電流の実効値は  $\boxed{9}$  [A] である。ただし、 $C_1$  と  $C_2$  の合成容量を  $C$  [F] とする。

解答群

- ①  $\left(\omega C + \frac{1}{\omega L}\right) V_0$     ②  $\left(\omega L + \frac{1}{\omega C}\right) V_0$     ③  $\left|\omega C - \frac{1}{\omega L}\right| V_0$     ④  $\left|\omega L - \frac{1}{\omega C}\right| V_0$   
 ⑤  $\left(\frac{1}{C} + \frac{1}{L}\right) \omega V_0$     ⑥  $\left(\frac{C+L}{\omega}\right) V_0$     ⑦  $\left|\frac{1}{C} - \frac{1}{L}\right| \omega V_0$     ⑧  $\left|\frac{C-L}{\omega}\right| V_0$   
 ⑨  $\left(\omega C + \frac{1}{\omega L}\right) \frac{V_0}{\sqrt{2}}$     ⑩  $\left(\omega L + \frac{1}{\omega C}\right) \frac{V_0}{\sqrt{2}}$     ⑪  $\left|\omega C - \frac{1}{\omega L}\right| \frac{V_0}{\sqrt{2}}$   
 ⑫  $\left|\omega L - \frac{1}{\omega C}\right| \frac{V_0}{\sqrt{2}}$     ⑬  $\left(\frac{1}{C} + \frac{1}{L}\right) \frac{\omega V_0}{\sqrt{2}}$     ⑭  $\left(\frac{C+L}{\omega}\right) \frac{V_0}{\sqrt{2}}$   
 ⑮  $\left|\frac{1}{C} - \frac{1}{L}\right| \frac{\omega V_0}{\sqrt{2}}$     ⑯  $\left|\frac{C-L}{\omega}\right| \frac{V_0}{\sqrt{2}}$